

総社市近郊の子育て世代を対象に親子リフレッシュイベントを開催

SOSU

活動の目的

親子一緒に遊べるイベントを開催することで、忙しい毎日から少しでも離れられる非日常空間を創出し、親子双方のリフレッシュ機会となることを目的とした。

会場で出逢った者同士で生まれる交流から新しいつながりが生まれ、子育てがちっと楽しくなるようなきっかけづくりを目指した。

普段あまり会うことのできない、市町村の枠を超え、学校園の枠を超えた親子が総社市内外から集まることで、近すぎない、少し離れた距離感の仲間が生まれ、適度な距離感だからこそ子育てや生活の悩みをありのままに話せる環境を提供することをめざした。

西日本豪雨被災者を対象とした復興支援イベントが減ってきた状況下で、SOSUがイベントを開催し、声をかけ続けることで心の支えとなることを目指した。

活動の内容及び経過

昨年度メインとして行ってきた被災地復興支援活動から、総社市内外の親子を対象とした子育て支援活動へ大きくシフトチェンジした。すべてのイベントの参加料を基本的に有料とした。ファミリーヘアカットなど、西日本豪雨被災親子を対象とした無料イベントも昨年同様に継続開催した。

昨年好評だった絵の具を好き放題使った廃材アートでは、なかなかこんなに思い切り絵の具を使える経験はできないと大好評をいただき、子どもたちのストレスの発散とアート体験の場となった。親子が同じ課題で一緒に遊ぶことでお互いの良さを発見できる、SOSUらしさのよく出た、やりたい放題な活動となった。

色粘土工作では、岡山大学付属小学校の先生をお招きし、岡山市から中学1年生のボランティア5名が参加。初めてのボランティア活動の場としても機能した。クリスマスに開催したため、サプライズでクリスマスパーティーを合わせて開催し、会場の皆でおいしいものを食べ、心温まるイベントとなった。

復興支援活動では、今までのように一方的に支援を提供するだけでなく、これまでリピーターとして参加して下さっていたママたちが自ら企画して音楽会を開催した。親にとっては被災以来あまりの忙しさで失っていた演奏者として音楽を楽しむ機会を取り戻すきっかけとなり、子どもにとっては何かに打ち込み楽しそうな親の姿を見ることで、親子双方の心の癒しを行うことができたと思う。支援される側からはじめて支援する側にシフトチェンジする機会ともなり、今までたくさんしてもらった感謝の気持ちを伝えられる機会となったと、主催側にも参加者に好評をいただい



た企画だった。

後半は別団体とリンクし、親子ヨガやパン作り、気功体操に手作りマルシェを開催し、親子の健康促進と食育の機会となった。

様々なイベントを開催したことで、地域で自由にいきいきと暮らす楽しい大人たちが集まり、親子どちらもがのびのびと活躍できる場所として機能することができた。

活動の成果・効果

昨年度から継続して活動を重ねてきたことで、いつも会場にいる主催メンバーの親子と、会場に集まるリピーターや新規顧客と出会えることそのものが価値化した。メンバー同士の交流が深まり、交流の幅が拡大。中学生ボランティアも誕生し、普段なかなか交流できない世代との交流と学びあいの場所となった。

今後の課題と問題点

対面での交流が柱であるため、今後のコロナウイルスの状況によりできる活動が限られてくること。

- 代表者：二宮麻衣子 ●所在地：総社市門田
- TEL：090-5706-8998 ●E-MAIL：sosu.okayama@gmail.com
- URL：https://sosu.site
- 設立年：2018年 ●メンバー数：2名